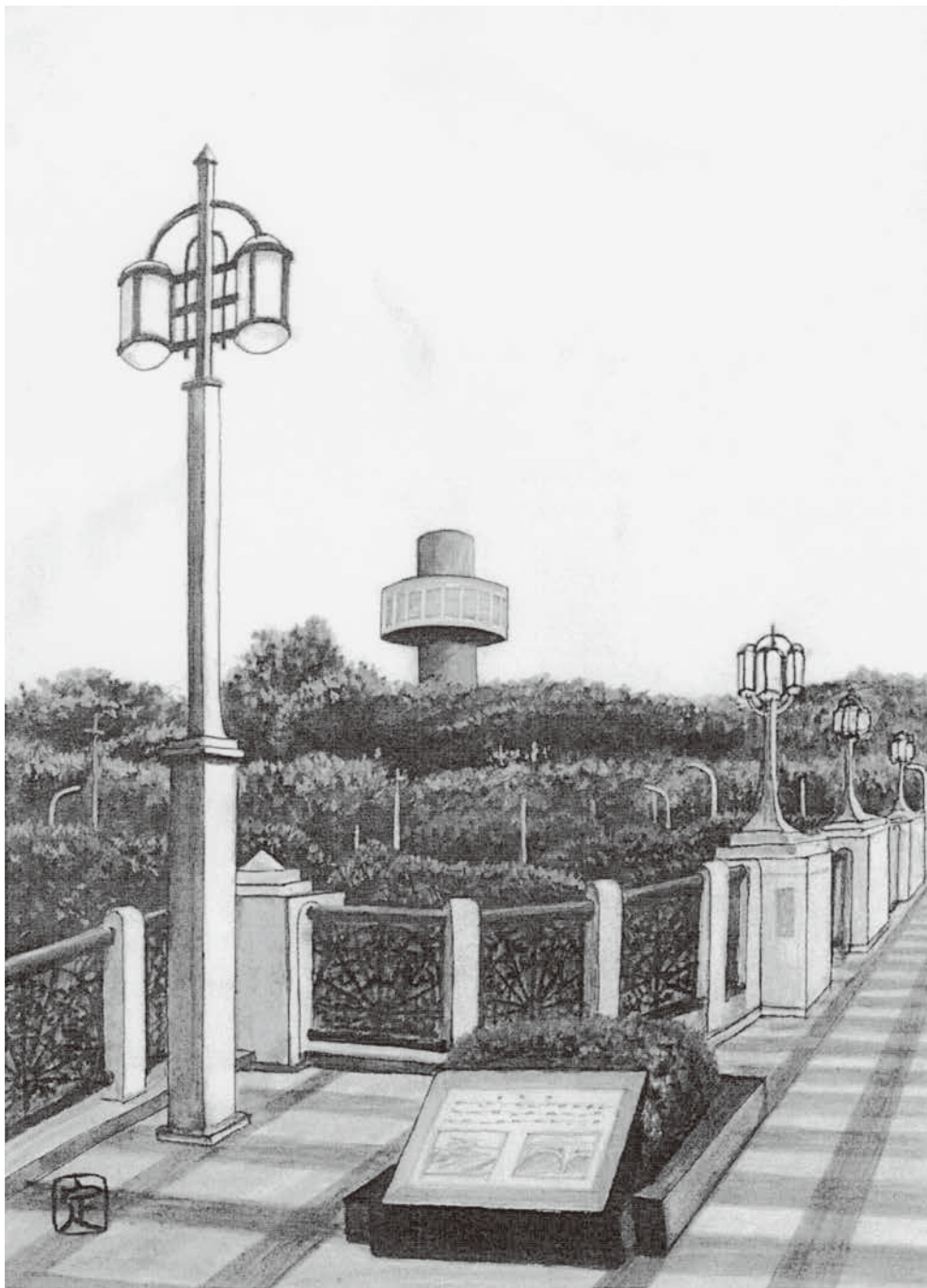


東京 肝臓のひろば

令和8年(2026年)4月号 第271号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会
<http://www.tokankai.com>



飛鳥山と音無橋 ~東京都・北区~ 鉛筆画 故山高定三さん

会員の皆様

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

国会請願行動 参加のお願い

国会請願署名にご協力いただきありがとうございます。「ウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者への支援とB型肝炎ウイルスを排除する薬剤の開発」を実現するために下記のとおり院内集会を開催します。多くの方のご参加をお願いします。

参加の方は
5/22までに

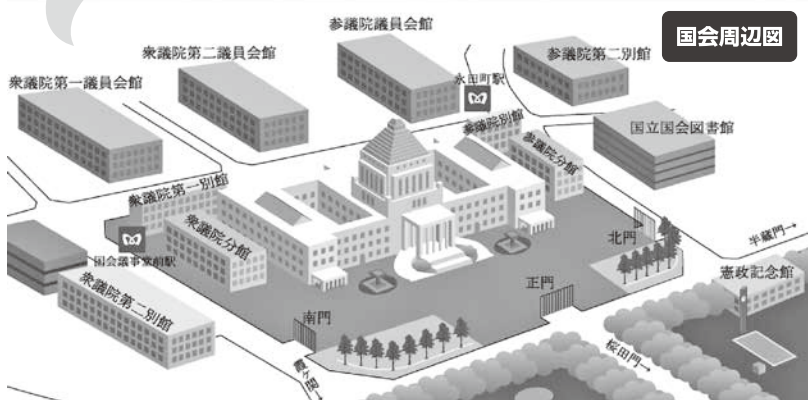
東京肝臓友の会まで Tel **03-5982-2150**

(火・木・金 10:00 ~ 16:00)

日時：5月26日(火) 11時から院内集会 午後から議員訪問

場所：衆議院第一議員会館 地下大会議室

集合：10:30 会館ロビー



国会議事堂前

●丸の内線 ●千代田線 1番出口 徒歩3分

永田町

●有楽町線 ●南北線 ●半蔵門線 1番出口 徒歩5分

溜池山王

●南北線 ●銀座線5番出口 徒歩8分

多くの方に国会請願署名 募金をお送りいただき、
本当にありがとうございました。お礼申し上げます。

肝硬変、肝がん、B型肝炎、自己免疫性肝疾患の方のために、今後とも東京肝臓友の会をどうぞよろしくお願い致します。

もくじ | Index |

東京肝臓のひろば 271

2 国会請願行動参加のお願い

3 東京都2026年度予算要望書回答

11 医療講演会

「肝臓病と内視鏡診療について」

独立行政法人 国立病院機構災害医療センター、光学診療部長、消化器内科部長 板倉潤先生

34 PBC・AIH・PSC通信

35 ジコメン・メディカル

帝京大学医学部付属病院 田中篤先生

36 活動日誌 (2月、3月)

37 情報BOX

患者会からの行事案内 医療講演会のお知らせ

40 講演会のお知らせ

東京肝臓友の会は毎年東京都に対し次年度の予算要望書を提出しています。昨年提出した令和8年度の要望書について都からいただいた回答を掲載します。

令和8年度

東京都の肝炎対策に関する要望書 回答

1 医療費助成制度等に関して

平成30年12月より、ウイルス性の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業が始まりましたが、この制度の助成実績は厚労省も認めるとおり見込みと大幅にかけ離れており、昨年の4月には3度目の改定が行われました。2年以内の再発者が助成対象になり、初発の肝が

ん患者に対して医師は研究事業への参加を説明し易くなることでした。一方、収入要件についての改定はなく、この点からの研究事業参加の増加は期待できないと危惧しております。現在のところ特段の前進は見られないように、日本肝臓病患者団体協議会では、再発したすべての肝がん患者に救済が行き渡っていないと判断して、来年度の国会請願の有無の議論を始めているところです。当

面、東京都に対しては厚労省からの令和元年6月24日付け「健肝発0624第1号」発出文書（指定医療機関の増加・確保及び患者への更なる事業の周知）に対し、東京都の取り組みについてその後の施策をご説明願います。指定医療機関が二つ増えたことは前進と評価しております。昨年度のご回答でも、肝臓専門医療機関からの申請が極めて低調で、説明と申請の受付だけでは不

十分で、今後も対策が必要であると思われまます。病院側の事務手続きの煩雑さについて言及がありましたが、昨年の改定で本当に改善がなされたのでしょうか。これまでの実績数から見ても、そのようには判断できないように思います。初発肝がん患者に対して研究事業の紹介がしやすくなるということでしたが、どのような対応がなされているのでしょうか。

4年前から、当会は日肝協の方針に呼応して制度の普及状況の定期調査をお願いしておりますが、ご協力に感謝申し上げます。いまだ改善に至っておりませんので、今後よりよくご協力をお願いいたします。

1 回答

都のこれまでの取り組みは、令和元年度に発出された通知のとおり

り、医療機関の指定を受けていないがん診療拠点病院及び緩和ケア病棟を有する医療機関に対して、指定申請依頼を行った。東京都慢性期医療協会に対しても会員に対する周知依頼を行った。

また、指定医療機関及び未指定の肝臓専門医療機関に対して、取り組み状況把握のための調査を実施した。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、医療機関への働きかけはできなかったが、令和3年度5月に東京都がん診療連携協議会において、肝がん事業の改正について周知を行うとともに、10月に未指定の都内肝臓専門医療機関に対して指定申請依頼を行った。12月には、肝がん重度肝硬変指定医療機関に加え、未指定の肝臓専門医療機関にも周知して、オンライン事業説明会を実施した。令和4年度から6年度については、東京都がん診療連携協議会において肝がん事業の周知及び指定申請依頼を行う

とともに、指定医療機関と未指定の肝臓専門医療機関を対象とする事業説明会を実施しています。今年度も、6月の東京都がん診療連携協議会において同様に説明を行い、また、今後医療機関向けの説明会を実施する予定。引き続き医療機関向けの説明会等を通じて本事業の制度周知を図っていく。

当日の質問に対する回答

指定医療機関数は10月現在80施設で若干の増加。

2 肝炎ウイルス検査の実施体制に関して

ウイルス検査をせず肝硬変・肝がんに行進した患者がいまだにいます。肝がんを撲滅するためには、正しい知識をもち、早期発見、早期治療を促し、肝炎ウイルスの検査が第一歩ですが、多くの人に

行き渡るように、東京都内区市町村における肝炎ウイルス検査の受検実態を開示し、都が把握しているデータを都内自治体に広く公表して啓発を行うことを要請してきました。肝炎対策協議会の資料では、令和平成4年から5年にかけて受験者数が大きく増加し令和3年度に回復していますが、良い結果だと思っています。すでにご回答をいただいています。区市町村ごとの統計データの公表の仕方については検討することでした。

1 受検率の高い区市町村と低い区市町村との比は60倍を超え、行政サービスに大きな差が生じている。

2 その状況が数年固定化している。

3 注目すべき向上を示す区市町村が幾つかある。

e-Statは、統計表でありまとめ方が重要です。東京肝臓友の会では、都の回答を受け一昨年度作業チームを立ち上げその検討を行ってきました。今年度も継続して調査し、昨年の結果に追加しました。その結果、まとめられたのが検診表1と検診表2と検診表3です。一見して分かりませんが、依然として以下の特徴が見られます。

都の公表に対しては令和5年度に大きな改善が見られます。令和4年度が落ち込みすぎた結果の反映なのか、都の働きかけの効果なのか判断が付きませんが、受診率1%以上では新宿区が著しい好結果を残しています。また1%未満の自治体では、18自治体が昨年より増加(昨年度は9自治体のみ)という結果です。改善理由について把握されている状況をご説明ください。

清瀬市や国立市の受診率は異常というべき数値です。この状況をどのように把握しているのでしょうか。全区市町村が受診率1%以上を目指すべく、引き続き効果的な

— 医療講演会 —

肝臓病と
内視鏡診療に
ついて

日時：2026年1月31日 13時30分～15時
会場：田町グランパークカンファレンス 401ホール

講師：板倉 潤 先生

(独立行政法人 国立病院機構災害医療センター、光学診療部長、消化器内科部長)



司会(米澤敦子) 板倉先生のプロフィールを簡単にご紹介いたします。1995年、東京医科歯科大学医学部をご卒業後、東京医科歯科大学医学部附属病院第二内科等を経て、1999年、武蔵野赤十字病院消化器科に移られます。2004年に山梨大学医学部第一内科、2006年に武蔵野赤十字病院消化器科、2011年に肝疾患相談センター副センター長として、私たち患者と共に活動をされておりました。2021年には消化器内科医長として国立病院機構災害医療センターに移られました。現在は災害医療センター消化器内科部長、光学診療部長でいらっしゃいます。

それでは板倉先生、よろしくお願いたします。

板倉 本日はお寒いなかご来場いただきましてありがとうございます。ご紹介いただいたように以前は武蔵野赤十字病院の肝疾患相談センターで、僕と相談員の看護師

さんと事務の人と三人三脚で10年くらいやってきました。

当時はC型肝炎をやっつけられるかやっつけられないかというころで、僕は武蔵野赤十字病院時代、最後に出した論文がC型肝炎の遺伝子変異についてでした。ウイルスをやっつけたあと、治療後の遺伝子変異がどのようになるのか全国集計したものをヨーロッパの肝臓学会誌に提出しました。同時に考藤先生の研究班に入って、肝臓がどのように進行していくかという研究もさせていただいて、それも同時に日本消化器病学会の英文誌に提出して、武蔵野赤十字病院を卒業しました。今は災害医療センターにいます。

本日は残念ながら最先端の肝臓治療のお話はありません。それを期待されて来られた方には申し訳ないので、最初にお詫び申し上げます。気楽に私の話とスライドを見ていただくとありがたいと思います。

●災害医療センター

みなさん、災害医療センターはご存知でしょうか。名前を聞いたことがある人や実際に行ったことがある人はいらっしやいますか？いらっしやるようですね。ありがとうございます。

災害医療センターは1995年に設立された病院で、国立立川病院と北区にある王子病院が統合されてできた病院です。設立のきっかけは阪神淡路大震災です。初動対応の遅れが指摘されたこともあって、災害時に動ける病院である災害医療センターをつくろうというところで、その後、全国各地に災害拠点病院がつくられてきました。2005年の段階では500病院でしたが、現在は770まで拡大しています、かなりきめ細かい災害時の対応ができるようになってきています。我々の災害医療センターはそれらの病院の総元締めとなって

います。

病院は東京都立川市にあって、多摩モノレールの駅から歩いて約10分です(図1)。残念ながらモノレールの高松駅と立川北駅の中間にあるので、アプローチは少々悪いです。バスで行くと立川駅からバス停で2つ目なので、歩いたほうが早いか、バスで行ったほうが早いのか、ちよつと悩む距離でもあります。

病床数は450床で、そこそこの中規模病院です。武蔵野赤十字病院が550床なので、それに比べると規模は少し小さめの病院になります。駅の南側には立川病院があって、さらにうちの病院から歩いて5分、モノレール沿いに立川相互病院があるのですが、どちらもうちと同じような規模

の450床くらいの病院です。

消化器内科に割り当てられているのは45床ですが、昨年の12月は70床まで一時的に少し多く抱え込んだことはありました。その患者

災害医療センター

病院概要
設立：1995年
住所：東京都立川市
(駅から徒歩10分)
病床数450床
(うち消化器内科45床)
上部内視鏡2500件/年
下部内視鏡1500件/年
処置内視鏡 450件/年



東京都立川市 災害医療センター

図1

さんたちを現在7人の消化器の医者で診ています。

内視鏡の件数は上部内視鏡が年間2500件、下部内視鏡は1500件です。処置内視鏡とはポリープや胃がん、胆石を取ることで450件くらいです。今年には520件を目指そうですが、年間600件を目指すように求められていて、先ほどの他の病院との患者の奪い合いではありませんがなかなか確保が難しく、600件には届かないので上からは怒られている状態です。

災害医療センターとは名前のとおり災害時に頼られる病院です。近くには昭和記念公園があり、隣には陸上自衛隊、立川の防災合同庁舎もすぐ近くにあり、少し離れますが米軍の横田基地もあるので立地としてはすごくいいです。災害の種類はたくさんありますが、災害医療センターが中心となる災害とは、大地震や雷や火事、阪神淡路大震災や東日本大震災、

能登地震など大きな地震が起こるたびに、我々はすぐに集まって議論を始めます。つい最近も山梨県の上野原で大規模な山火事がありましたね。あの火事が人家にまで広がっていたら、我々も出張っていかなければいけませんでした。地震・雷・火事ときて、残念ながら親父は人為的災害に入ります(笑)。

自然災害には台風もあって、熊本豪雨では線状降水帯による川の氾濫がありました。東日本大震災では津波で亡くなられた方がたくさんいらっしやいました。また雪崩でも毎年けっこうな人数が亡くなられています。特に秋田県が多かったです。最近では熊の災害もあります。それこそ動物が大挙してやってくる事態になれば、我々是对処しなければいけなくなります。それらは全部自然災害に入ります。

それ以外の人為的災害ですが、事故はなくなりませんし、ウクラ

イナでは戦争をやっている、インではテロが起こりつつある状態で、暴動などいろいろなことがあります。そういったことすべてに対応するのが災害医療センターの役割です。

ただ実際問題として、地震と津波以外はそうそう大ごとにはなりません。上野原の山火事も人家まで広がるかどうか見えていましたが、かなりの広範囲を焼きながら1ヶ月経ってようやく鎮火して、全部山だったので我々には出張の必要はありませんでした。戦争にまでなると、我々医者が出張のよりは自衛隊が中心となると思います。

東京都の南部で直下地震が起こったときのハザードマップを東京都は公開しています。本日の会場の田町で直下型地震マグニチュード7.3が起こると、震度6強が予想されます。震度6強の地震が起こった瞬間、机の下に頭を突っ込んで、とにかく自分を守ってください。揺れが収まったあと

は会場近くに運河があるので、液状化現象が起こるなどいろいろなことがあると思います。

災害医療センターがある立川は、武蔵野台地のなかではかなり頑強な地盤だということも踏まえて拠点病院がつくられた経緯があります。でもつくられたあとに、立川断層が通っていることが判明しました。立川断層が揺れた場合には、災害医療センターは真っ先に壊滅してしまうので、そのときには他の施設にがんばっていただくことになります。

災害医療センターは災害時の拠点としての役割があります(図2)。実際に災害が起きたときには、診療の拠点になります。先ほどうちの病院は45床と言いましたが、予備のベッドがたくさんあって、最大800床まで拡大可能です。当時としては最新の耐震設備でしたが、その後の東日本大震災で少し脆弱になったので補強剤を入れて現在に至っています。

そして厚生労働省と東京都の一部がうちの病院に来ます。我々が外来をやっている4階に広い講義室があって、その一部を区切って厚生労働省と東京都が間借りして、災害時には行政の拠点となります。年2回、全職員が参加する大地震の際の診療についてシミュレーション

災害医療センターの役割

・災害時の拠点

- ・診療の拠点 + 行政の一部が間借り
- ・全国で大きい地震が起きた際は、院内に対策本部設定(部長職以上と救急救命科は即座に参集)
- ・年2回大地震の際の診療についてシミュレーションを行っている。

災害時以外は?

PBC・AIH・PSC通信

PSC オンライン (Zoom) 交流会のお知らせ

日 時 2026年 **5月31日(日)** 15時~17時

対 象 PSC (原発性硬化性胆管炎) の患者・家族の方

申込メ切 5月27日(水)

申込方法

① 次のURLまたはQRコードからアクセスしてください。

<https://tokankai.com/archives/5975>

② 「申込フォーム」に必要事項を入力してください。

③ 自動返信メールが届いたら申込完了です。

●開催3日前までに、参加のためのURL等をメールでお送りします。

seikyu@tokankai.comからのメールを受信できるよう、必ず受信許可設定をお願いします。

●参加URLが届かないなど、お問い合わせはメール：seikyu@tokankai.com または電話

03-5982-2150までお願いします。(電話受付: 祝日を除く火・木・金、10時~16時)



活動のご報告

★小金井地区肝友会 学習会

2026年3月8日(日)に、東京肝臓友の会の地域患者会である小金井地区肝友会にて、自己免疫性肝疾患の学習会が開催されました。前半は古川から①患者会活動の紹介 ②AIH・PBC・PSCの概要説明(研究班ホームページの疾患解説を紹介)、後半は会員さん4名(PBC2名、AIH2名)と古川(PSC)で、患者によるトークセッションを行いました。疲労感、合併症、病気との向き合い方など様々なテーマで、自己免疫性肝疾患の患者としての経験、苦勞、思いをお話ししました。同じ肝臓病の仲間として、肝友会の皆さんと相互理解が深まったように思います。

★医学雑誌への寄稿

「日本臨牀」(日本臨牀社)という医学雑誌があります。2026年2月号「特集 自己免疫性肝疾患 update」は帝京大学医学部の田中篤先生が監修・企画されました。古川もお声がけいただき「自己免疫性肝疾患における患者会活動と患者の思い」と題して寄稿しました。患者会活動、特にPSCオンライン交流会の状況や患者実態調査の結果について詳しく紹介しています。読者である医師の先生方に、私たち患者の思いを少しでもお伝えできていれば幸いです。

※国会請願署名活動にご協力いただきありがとうございます!

5/26(火)に請願署名提出と集会を行います。東京近郊のPBC・AIH・PSCの会員の皆さま、よろしければご参加ください。と一緒に署名を提出しましょう。詳細は本紙の案内ページをご覧ください。参加される方は東京肝臓友の会(03-5982-2150)までご連絡をお願いします。

東京肝臓友の会主催 医療講演会 後援 郡山市

肝臓専門医から学ぶ「自己免疫性肝疾患」

日時 2026年 **6月6日(土)** 13:30~15:00

講師 **阿部 和道** 先生 (福島県立医科大学消化器内科学講座 准教授)

会場 郡山駅西口ビッグアイ 7階市民交流プラザ
「大会議室1」 郡山市駅前2丁目11-1



PBC (原発性胆汁性胆管炎) AIH (自己免疫性肝炎)
PSC (原発性硬化性胆管炎) という3つの自己免疫性肝疾患

について、講師の**阿部 和道先生**にお話いただきます。

先生は厚生労働省の「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班」に所属されており、最新の治療法や状況をお伺いできる貴重な機会です!!

要申込★参加無料

先着順

定員 **50** 名

MAP

会場

ビッグアイ 7階

2階連絡通路直結

JR 郡山駅西口

お申込・お問合せはこちらまで!!

●電話: 03-5982-2150 (祝日を除く火・木・金 10時~16時)

●web: URL または QRコード からアクセスし申込フォームにご入力ください。

●チラシ裏面を FAX も可

<https://tokankai.com/archives/5972>

特定非営利活動法人東京肝臓友の会 (PAP 東北ブロック)
(〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-27-5-201)

